

## 臨時部長会議開催結果 概要

●日時	令和7年5月27日（火） 午後2時30分から午後2時50分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 石原副市長	□ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 税務担当部長	■ くらし安心部長
	■ 文化スポーツ部長	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長
	■ はだの魅力づくり担当部長	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長
■ 教育部長	■ 消防長			
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ 2 報告事項 (1) 令和7年6月秦野市議会第2回定例会月会議提出議案等について [総合政策課・財政課] (2) 令和7年度地区別市政懇談会及び総合計画後期基本計画タウンミーティングの開催について [総合政策課・広報広聴課・市民活動支援課] (3) 土地利用委員会調整部会の審議案件について [開発指導課] 3 その他			
●会議概要	1 市長あいさつ ・蒸し暑い日が続いているが、今月16日に九州南部が梅雨入りし、その3日後の19日に奄美地方が梅雨入りした。奄美地方の方が後になるのは、実に71年ぶりで、昭和29年、秦野市が誕生する1年前以来ということである。 ・関東甲信越地方では、例年並みの6月上旬に梅雨入りすると予測だが、湿度が高く、体調を崩しやすい時期となるため、健康には十分留意し、職務に励んでもらいたい。 ・今月17日に弘法山公園で予定されていた植樹祭は、雨のため中止となってしまったが、同公園では、今年2月に神代曙という桜を植樹し、3月にはNPO法人主催で八重桜を植樹していただいた。 ・今回、植樹予定だったイロハモミジなど12種類の樹木は、里山団体の協力をいただいて植樹を行う予定だが、引き続き、市民や関係団体とともに、弘法山公園の魅力をもっと一層高めていきたい。 ・このような秦野市の自然を生かした「里地里山での取組み」や、「秦野盆地での地下水保全の取組み」など、長年、生物多様性の保全に取り組んでいることが高く評価され、先月、日本自然保護協会から、県内では初、全国で2番目となる「ネイチャーポジティブ自治体」として、認証を受けた。 ・今後は、日本自然保護協会の力を借りながら、民間企業とのパートナーシップの構築を図り、表丹沢の魅力づくりにつなげていきたい。 ・ネイチャーポジティブとは、「自然再興」という意味で、これまで、日本自然保護協会では、国レベルでの自然保護に力を入れてきたが、草の根の自			

然保護に取り組んでいきたいということから、新たな取組みを開始した。

- ・基礎自治体から、いろいろな自然保護の活動を発信するに当たり、その手掛かりとなるのが、ネイチャーポジティブ自治体認証である。

- ・日本自然保護協会は非常に権威のある団体であり、そうした機関に、葉タバコ耕作から始まるような、長い年月にわたる本市のこれまでの取組みが評価されたことは誇りに思っており、よいと考えている。

- ・ぜひこの機会を捉えて、各企業等とも連携しながら、関係人口や交流人口を大いに増やす一つのきっかけとしたい。

- ・18日には、市内各地で「市民体育祭」が開催された。東地区のみ25日に延期、結果として中止になってしまったが、こうして地域の住民が集まり、一緒に体を動かし、楽しく交流することで、健康増進だけでなく、地域コミュニティの維持・強化となり、顔の見える関係性が深まることを改めて実感した。

- ・これまでも、いろいろな場面で、自治会加入率の低下など、地域コミュニティの弱体化を懸念する声が聞かれているが、安全・安心なまちづくりには、地域の力が不可欠であるため、マイナス面だけを見るのではなく、プラス面に目を向け、いかに地域コミュニティを強化していくかということに注力してもらいたい。

- ・例として、地域福祉の担い手の一員である民生委員が、地域によっては欠員し、そうした状態が広まることで他の担い手も欠けてしまう、負の連鎖が起きてしまうことがある。

- ・民生委員に限らず、交通指導員や防犯指導員なども同様だが、それぞれの部局が所管する地域の担い手において、欠員の状況や10年前、20年前と比較してどうなのかということを見てもらえたら分かると思う。

- ・一つ例を挙げると、交通指導員は、平成16年に定数30名だったものが、現在18名になっている。20年もしかないぐらい前までは、30名近くいた中で、欠員が出てだんだん縮小してきている。

- ・社会環境の変化による役割の見直しなどもあるかと思うが、それぞれの部局で、地域コミュニティの弱体化がどこかに表れていないかよく見た上で、時代に合った形で評価していくということが重要だと思うため、市として何ができるのか、どんな支援が必要なのか、全庁的にしっかりと取り組んでもらいたい。

- ・先週の土日には、50事業所・3団体が出店した、市内最大の産業イベント「商工まつり」が開催された。

- ・少し雨に降られてしまったが、概ね天候にも恵まれ、3万7千人に会場をいただき、大変賑わった。

- ・商工業者の元気な活動は、秦野市全体を明るくする。引き続き、「小田急線4駅周辺のにぎわい創造」などを推し進め、まちの活力・賑わいにつなげていきたい。

- ・本日は、来月5日から始まる、第2回定例会を控えた臨時部長会議となる。

- ・先週に各会派との懇談会を終え、明日午前中に正副議長に当初議案を申し入れ、明後日に議案を発送する予定である。
- ・当初議案は、工事請負契約の締結が2件、動産の取得が2件、和解が1件、補正予算が3件、報告が8件の合計16件、追加議案は、工事請負契約の締結1件と人権擁護委員候補者の推薦2件を予定している。
- ・詳細については、この後、担当の課長から説明があると思うが、議会に臨むに当たっては、各案件に関連する資料や過去の経過等を十分再確認した上で、部局間の連携を図りながら、的確に説明責任が果たせるよう、しっかりと準備してもらいたい。
- ・新任の部長にとっては、初めての定例会で、緊張するとは思いますが、これまでの経験と万全なる準備に裏付けされた自信を持って、答弁することが肝要である。
- ・丁寧に分かりやすく、時には、毅然と対応することも必要であるため、よろしくをお願いしたい。
- ・体調管理には十分留意してもらおうとともに、職務の遂行と来週から始まる6月定例会への対応を重ねて願います。

## 2 報告事項

### (1) 令和7年6月秦野市議会第2回定例会月会議提出議案等について

[総合政策課・財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

### (2) 令和7年度地区別市政懇談会及び総合計画後期基本計画タウンミーティングの開催について [総合政策課・広報広聴課・市民活動支援課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

### (3) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 3ページの環境創出行為について、昨年、豪雨による浸水等があったかと思うが、これからの梅雨入りに向けて、何か対策はしているのか。

答. 関係部署と調整し、後日報告する。